

小佐古教授と共に 放射線防護を語る！

「放射線防護とは何か-私のたどり着いた地平-」

講師：小佐古 敏荘（東京大学大学院原子力専攻教授）

日時：2014年12月6日（土）13:30～17:00（13:00受付開始）

場所：いばらき量子ビーム研究センター（東海村、原子力機構前）



講演＋パネルディスカッションの二部構成

【講演】

前半の講演では、小佐古教授の様々な研究活動

- ・ 広島・長崎の原爆線量再評価の日米委員会
- ・ ICRPにおける放射線防護に関する諸議論
- ・ IAEAの放射線安全基準(RASSC)
- ・ 放射性廃棄物安全(WASSC)
- ・ FNCAにおけるアジア原子力協力などに加え、

線量計測、加速器保健物理、放射線遮蔽、環境放射能の40年以上の諸研究を通じてたどり着いた地平を若手と共有し、福島第一原子力発電所事故後の放射線防護の展開を議論する。

【パネルディスカッション】

後半は若手の有志らによるパネラーが小佐古教授にチャレンジ！皆様からの質問を基に議論！
ディスカッションのための質問・ご意見を募集！

【懇親会】有志

【参加費】無料（懇親会費別途）



小佐古 敏荘（KOSAKO Toshiso）

1949年広島県生まれ
1972年東大・工・原子力工学科卒業
1977年東大院・工・博士課程修了
1977年以降東京大学助手(原子核研究所)
助教授(原子力研究総合センター)
教授（工学系研究科原子力専攻）
（一社）日本保健物理学会会長、元国際放射線防護委員（ICRP）第4委員会委員、元内閣官房参与、元放射線審議会基本部会長、など多数

参加申し込みについて

講演会、懇親会の出欠、**小佐古教授への質問**を下記メールアドレス(嶋田宛)までお願いします。
E-mail: shimada.kazumasa@jaea.go.jp

締切: 11月21日（金）**質問は随時受付**

（一社）日本保健物理学会 若手研究会

主査：荻野 晴之（電中研）

幹事：河野 恭彦（原子力機構）中村 秀仁（京大炉）

本企画担当：嶋田 和真（原子力機構）

